

三菱UFJ MV20/MV40/MV80 主要投資対象である投資信託証券の運用会社の変更について

追加型投信/内外/資産複合

主要投資対象である投資信託証券の運用会社の変更について

弊社ファンド「三菱UFJ MV20/MV40/MV80」(当初設定日:2000年12月20日、追加型証券投資信託)の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社から、「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)(「ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)」の主要投資対象)において、2018年12月11日付で運用会社構成を一部変更し、これまでマーケット・オリエンテッド型運用を担当しておりましたニューメリック・インベスターズ・エル・エル・シーを解約し、新たにクープランド・カーディフ・アセット・マネジメント・エル・エル・ピーをグロース型運用として採用するとともに、各運用会社の目標配分割合を変更するとの連絡がありました。

「ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド」は今後、グロース型3社、バリュー型2社、マーケット・オリエンテッド型1社、計6社体制で運用を行ってまいります。

運用会社 (外部委託運用会社/投資助言会社) ^(注1)	運用スタイル	目標配分割合(%) ^(注2)	
		変更前	変更後
アセットマネジメント One 株式会社《日本》 (以下「アセットマネジメント One」といいます。)	グロース型	<u>24</u>	<u>25</u>
カムイ・キャピタル株式会社《日本》 [投資助言] ^(注3) (以下「カムイ」といいます。)	グロース型	<u>8</u>	<u>10</u>
クープランド・カーディフ・アセット・マネジメント・エル・エル・ピー《英国》 (以下「クープランド」といいます。)	グロース型	—	<u>10</u>
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社《日本》 [投資助言] ^(注3) (以下「損保ジャパン日本興亜」といいます。)	バリュー型	<u>20</u>	<u>30</u> ^(注4)
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ・エル・エル・シー《米国》 (以下「RIIS」といいます。)	バリュー型	10	10
スパークス・アセット・マネジメント株式会社《日本》 [投資助言] ^(注3) (以下「スパークス」といいます。)	マーケット・オリエンテッド型	<u>12</u>	<u>15</u>
ニューメリック・インベスターズ・エル・エル・シー《米国》 (以下「ニューメリック」といいます。)	マーケット・オリエンテッド型	<u>26</u>	—

(注1)「運用会社」について、運用の指図にかかる権限を委託する運用会社を「外部委託運用会社」、外部委託運用会社が投資助言を受ける会社を「投資助言会社」ということがあります。

(注2)「目標配分割合」とは、運用会社を組み合わせる際に目安とする配分割合をいいます。

(注3)各投資助言会社の投資助言に基づき、RIISが運用の指図を行います。

(注4)損保ジャパン日本興亜は、今回の目標配分割合の変更に合わせて、外部委託運用会社から投資助言会社に移行します。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80 主要投資対象である投資信託証券の運用会社の変更について

追加型投信/内外/資産複合

以下「ラッセル・インベストメント株式会社からの連絡内容」において、今回の運用会社および目標配分割合の変更の目的につきまして、ご説明いたします。

ラッセル・インベストメント株式会社からの連絡内容

■運用会社および目標配分割合の変更の目的

・市場環境の変化に応じ、超過収益獲得の機会を拡充

ラッセル・インベストメントでは、運用会社の継続的な調査・評価を通じて、ファンドで採用している運用会社への確信度が低下した場合や、新たにより優れた運用会社を発掘した場合には、必要に応じて運用会社の変更を行います。また、運用会社の運用能力自体に変化がない場合においても、市場の構造・特徴の変化や投資手法の進展を機に運用会社や目標配分割合の変更を行うことがあります。

最近の株式市場においては世界的な金融緩和脱却とそのスピードが主要テーマのひとつとなり、足元では米国の長期金利が3%を超えるなど金融正常化の流れが促進されています。今後は投資先の選別がより重要となり、株式の個別銘柄選択効果が発揮されやすい環境になると考えています。このような環境下において、相対的に高いリターン獲得能力を有すると判断している運用会社への目標配分割合を増やす目的で、今回の変更を決定致しました。マーケット・オリエンテッド型のクオンツ・マネージャーであるニューメリックの運用能力に対する評価に変更はありませんが、各運用スタイルにおいて高い個別銘柄選択能力を有する運用会社への配分を増やすため、グロース型のスタイル内でラッセル・インベストメントが高く評価するクーブランドを新たに採用するとともに、他の運用会社の目標配分割合を変更しました。超過収益の機会を拡充することにより、一層のファンド・パフォーマンスの向上を目指します。

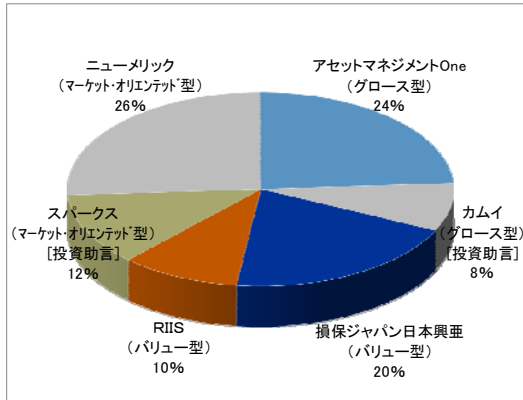
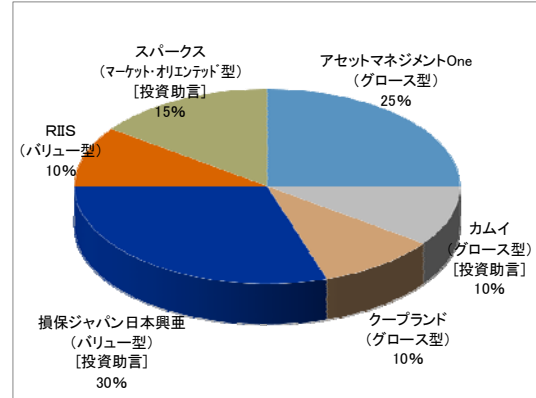
また、株式などの取引の効率化や取引コストの削減を図るために、損保ジャパン日本興亜を外部委託運用会社から投資助言会社に変更しました。今後は損保ジャパン日本興亜の投資助言に基づきRIISが運用を行います。これにより、今後の運用会社や目標配分割合の変更をより柔軟かつ効率的に行うことができるようになります。

・新たに採用するクーブランドについて

2005年にロンドンに設立されたブティック系の運用会社です。企業のファンダメンタルリサーチをベースとしたアジア株・日本株への投資を主たる事業としています。英国人の担当ポートフォリオ・マネージャーは、日本株運用経験が20年超と経験豊富で日本語も堪能であり、ラッセル・インベストメントでは同氏が運用を担当する商品のリサーチを2000年代前半(同氏がジャーディン・フレミング投資顧問(現JPモルガン・アセット・マネジメント)在籍中)から継続しております。

グロース型の運用会社であるクーブランドは、時に市場が読み違えている収益予想に惑わされずに洞察ある独自の収益予測に基づいて銘柄を選定します。市場コンセンサスと実際の価値とのギャップを捉えることがリターンの源泉であり、①潜在的な成長力が市場で見逃されていると思われる高成長企業、②歴史が浅く、IR体制が未整備などの理由で情報が十分に市場に出てきていないと思われる中小型銘柄、③短期的なカタリスト顕在化により市場のミスプライシングの修正が期待できる大型株銘柄などでポートフォリオを構築します。

ベンチマークを意識せず、20~30銘柄程度に集中投資を行う戦略のため、保有ポートフォリオとベンチマークとの乖離は大きく、短期的な相対パフォーマンスの上下変動は大きい傾向があります。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80 主要投資対象である投資信託証券の運用会社の変更について
■各運用会社への目標配分割合
変更前

変更後


今回の運用会社構成の変更は、ラッセル・インベストメントグループの継続的な運用会社調査の結果に基づくもので、マルチ・マネージャー・ファンドならではの特徴の一つです。

ラッセル・インベストメントのマルチ・マネージャー・ファンドでは、皆様の投資目標の実現を図るため、今後も状況の変化などに応じて、適切な運用会社構成の変更などを実施してまいります。

以上

Copyright © 2018. Russell Investments. All rights reserved.

当資料中「ラッセル・インベストメント」は、ラッセル・インベストメントグループの会社の総称です。

ラッセル・インベストメントの所有権は、過半数持分所有者のTAアソシエーツおよび少数持分所有者のレバレンス・キャピタル・パートナーズとラッセル・インベストメントの経営陣から構成されています。

フランク・ラッセル・カンパニーは、当資料におけるラッセルの商標およびラッセルの商標に関連するすべての商標権の所有者で、ラッセル・インベストメントグループの会社がフランク・ラッセル・カンパニーからライセンスを受けて使用しています。ラッセル・インベストメントグループの会社は、フランク・ラッセル・カンパニーまたは「FTSE RUSSELL」ブランド傘下の法人と資本的関係を有しません。

当資料は、当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その情報の正確性や完全性についてこれを保証するものではありません。ラッセル・インベストメントによる事前の書面による許可がない限り、資料の全部または一部の複製、転用、配布はいかなる形式においてもご遠慮下さい。

当資料においてご説明するファンドは、ファミリーファンド方式により運用する当社設定の投資信託の主要投資対象である親投資信託(マザーファンド)に係わるものです。マザーファンドには直接ご投資できません。

運用会社(外部委託運用会社/投資助言会社)の構成および目標配分割合は変更されることがあります。

■本資料は2018年12月11日におけるファンドの運用会社構成の変更等をお知らせするものであり、ファンドの運用会社構成は、今後もラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更されることがあります。

■表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。

■また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト(変更後)

三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント日本株式マザーファンドは、国内の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(TOPIX(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用スタイルと運用会社を採用することにより、ファンド全体でリスクをコントロールしながら、超過収益の獲得を目指します。グロース型、バリュート型、マーケット・オリエンテッド型などの運用スタイルだけでなく、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

**グロース型
アセットマネジメントOne(日本)**

アセットマネジメントOneは、今後数年で大きな利益成長を遂げると考える企業に投資します。マクロ状況・投資家動向への理解が深く、ボトムアップでの銘柄選択に加えて、ポートフォリオ構築のエッセンスになっています。

**グロース型
カムイ・キャピタル(日本)(投資助言)**

カムイは、コントラリアン・アプローチを基本とし、情報ギャップや流動性の高低から発生する投資家の盲点となっている変化・成長を見逃さず、株価の上昇をもたらすカタリストを特定するグロース・マネージャーです。なお、カムイの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**グロース型
クープランド・カーディフ・アセット・マネジメント(英国)**

クープランドは、市場コンセンサスと実際の価値とのギャップを捉えることをリターンの源泉としており、①潜在的な成長力が市場で見逃されていると思われる高成長企業、②歴史が浅く、IR体制が未整備などの理由で情報が十分に市場に出てきていないと思われる中小銘柄、③短期的なカタリスト顕在化により市場のミスプライシングの修正が期待できる大型株銘柄などでポートフォリオを構築します。

**バリュート型
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント(日本)(投資助言)**

損保ジャパン日本興亜は、「ノーマル収益力(企業の本質的かつ恒常的な収益力)」という概念をベースにした中長期ファンダメンタルズに基づく投資価値を、配当割引モデルをベースにした独自のバリュート型モデルで算出し、割安度の高い銘柄を中心に投資します。厳格な売却規律を持ち、目標株価を達成した銘柄は速やかに売却します。なお、損保ジャパン日本興亜の投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**バリュート型
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)**

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にファンドの一部についての運用を行います。当該部分においては低PBR(株価純資産倍率)銘柄を中心としたポートフォリオ(ディープ・バリュート)を構築することにより、ファンドの低PBR特性を補強します。

**マーケット・オリエンテッド型
スパークス・アセット・マネジメント(日本)(投資助言)**

スパークスは、高い技術力やブランド力があり、グローバルでの活躍が今後も期待できる企業に投資します。銘柄を厳選するため、保有銘柄は少数に絞られ、非常に集中したポートフォリオとなります。なお、スパークスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

(注)2018年12月11日付で、マーケット・オリエンテッド型を担当していましたニューメリック・インベスターズに替えて、新たにグロース型としてクープランド・カーディフ・アセット・マネジメントを採用するとともに、各運用会社の目標配分割合を変更しました。また、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントを外部委託運用会社から投資助言会社に変更しました。

- 本資料は2018年12月11日におけるファンドの運用会社構成の変更等をお知らせするものであり、ファンドの運用会社構成は、今後もラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更されることがあります。
- コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
- また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト(変更後)

三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ (適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ (適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

＜ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド＞

ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。グロース型、バリュー型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を最適な割合で組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、超過収益への貢献度が高い銘柄選択において、各運用会社の特性を最大に活かせるようファンドを運用します。

**グロース型
フィエラ・キャピタル(米国) (投資助言)**

フィエラは、ROIC(投下資本利益率)やROE(自己資本利益率)、EVA(経済的付加価値)を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、フィエラの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**グロース型
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント(米国) (投資助言)**

モルガン・スタンレーは、ROIC(投下資本利益率)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**バリュー型
サンダース・キャピタル(米国) (投資助言)**

サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**バリュー型
ジャナス・キャピタル・マネジメント(米国) (投資助言)**

ジャナスは、PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)、PCFR(株価キャッシュフロー倍率)等のバリュエーション指標に加え、財務健全性やキャッシュフローの堅実性を重視するなど、株価のダウンサイドに留意したバリュー運用を行います。なお、ジャナスの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。

**マーケット・オリエンテッド型
ニューメリック・インベスターズ(米国)**

ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランス良く的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。

**ポートフォリオ特性補強型
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)**

ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリューやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。

- 本資料は2018年12月11日におけるファンドの運用会社構成の変更等をお知らせするものであり、ファンドの運用会社構成は、今後もラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更されることがあります。
- コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
- また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト(変更後)

・三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅡ(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

<ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンド>

ラッセル・インベストメント日本債券マザーファンドは、日本の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(NOMURA-BPI総合指数)を上回ることを目標として運用を行います。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

広範囲型
ウエスタン・アセット・マネジメント(日本)

ウエスタンは、グローバルに展開する債券特化型の運用会社です。デュレーション(金利感応度)戦略やイールドカーブ(利回り曲線)戦略などの金利戦略においては、グローバルな視野と高い調査能力を活かし、マクロ経済から需給関係まで精緻な分析により投資を行います。また、クレジット戦略においては、同社が有するグローバルなクレジット調査体制を生かし、サムライ債等のセクター戦略および個別銘柄選択を強みとしています。

広範囲型
アセットマネジメントOne(日本)

アセットマネジメントOneは金利、クレジット/セクターの両戦略において、安定した超過収益の獲得を目指します。金利戦略部分では、投資家行動や需給分析に強みがあり、その分析能力を基に極めて短期的なポジションを機動的に数多く取ることで、超過収益の積み上げを図ります。クレジット/セクター戦略部分では、クレジットアナリストが定性、定量両面から精緻な信用力分析を行い、ポートフォリオ・マネージャーが個別銘柄選択を行います。また、投資ユニバースの拡充にも積極的です。

- 本資料は2018年12月11日におけるファンドの運用会社構成の変更等をお知らせするものであり、ファンドの運用会社構成は、今後もラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更されることがあります。
- コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
- また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券の運用会社リスト(変更後)

・三菱UFJ MV20/MV40/MV80の主要投資対象である投資信託証券を運用しているラッセル・インベストメント株式会社からのデータ・コメントを原則としてそのまま掲載しています。

**ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅡ Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)/
Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)**

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅡ Aコース(為替ヘッジあり) /
Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)の運用はファミリーファンド方式で行い、
下記のマザーファンドを主要投資対象とします。

<ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンド>

ラッセル・インベストメント外国債券マザーファンドは、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている公社債を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース))を上回ることを目標として運用を行います。当ファンドの大部分は国債や、高い格付けの債券に投資されます。複数の運用会社を採用することにより、金利予測、満期構成、債券種別選択、国別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった債券運用における超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図り、リスクをコントロールしながら超過収益の獲得を目指します。

ベビーファンドのベンチマークはそれぞれ下記の通りです。

Aコース(為替ヘッジあり): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

Bコース(為替ヘッジなし): FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

Aコースは原則として為替ヘッジ(運用会社:ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシズ)を行い、為替変動リスクの低減を図ります。Bコースは原則として為替ヘッジを行いません。

マクロ・バリュー型
コルチェスター・グローバル・インベスターズ(英国)

コルチェスターの運用スタイルは、各国の経済情勢や財政の健全性などのマクロ分析を通じて、相対的に高いリターンが見込める、割安感の強い国の債券および通貨を発掘するというものです。割安であるか否かの判断は、実質金利や購買力平価などを予測する同社独自の定量モデルを用いて行われ、この結果に定性判断を加味することにより国別および通貨別の配分が決定されます。

広範囲型
インサイト・インベストメント・マネジメント(英国)

インサイトは、特定の戦略に偏ることなく、国別配分、種別配分、通貨配分、個別銘柄選択といった、あらゆる超過収益源泉をカバーし、市場環境の変化に合わせて柔軟に投資する運用能力を有しています。

- 本資料は2018年12月11日におけるファンドの運用会社構成の変更等をお知らせするものであり、ファンドの運用会社構成は、今後もラッセル・インベストメントグループが行う運用会社調査に基づいた判断により変更されることがあります。
- コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。
- また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われな場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ MV20/MV40/MV80

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、「資産区分の分散(マルチ・アセット)」に加え「運用スタイルの分散(マルチ・スタイル)」、「運用会社の分散(マルチ・マネージャー)」を行うことにより、各資産の指数を合成したベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざします。

■ファンドの特色

特色1
三菱UFJ MVは投資信託証券を主要投資対象とするファンド・オブ・ファンズ(F.O.F)です。株式や公社債等に直接投資するのではなく、複数の投資信託証券に投資することにより、同時に複数の投資信託を購入したことと同じ効果が得られます。

<投資対象ファンド>

ラッセル・インベストメント日本株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント日本債券ファンドⅡ(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅡ Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)

ラッセル・インベストメント外国債券ファンドⅡ Bコース(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)

特色2

投資信託証券は、内外の株式および公社債(これらを投資対象とするマザーファンドを含みます。)を主要投資対象とします。リスクの異なる3種類のファンド(三菱UFJ MV20、三菱UFJ MV40、三菱UFJ MV80)をご用意いたしました。投資者のみなさまの年齢やライフスタイル等に合せてご自由にお選び頂けます。

また、3種類のファンド間ではスイッチング(乗換え)が無手数料で行えます。

・スイッチングの際は、換金するファンドに対して信託財産留保額および税金がかかります。

特色3

主要投資対象である投資信託証券は、ラッセル・インベストメント株式会社(以下、「ラッセル・インベストメント」といいます。)が設定・運用を行います。投資信託証券への投資を通じての「資産区分の分散(マルチ・アセット)」に加え、投資信託証券はマザーファンドへの投資を通じて、「運用スタイルの分散(マルチ・スタイル)」、「運用会社の分散(マルチ・マネージャー)」の運用アプローチを採用し、収益の安定化をめざします。

株式の場合には、グロース(成長)型、バリュー(割安)型、マーケット・オリエンテッド型などに代表される複数の運用スタイルを組み合わせ運用されます。

特色4

運用にあたっては、下記の各指数をそれぞれの基準ポートフォリオの比率で組み合わせた指数を合成ベンチマークとし、中長期的に当該指数を上回る投資成果をめざします。

	MV20	MV40	MV80
配当込みTOPIX	15%	30%	55%
MSCI コクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース)	5%	10%	25%
NOMURA-BPI総合指数(短期金融資産(有担保コール翌日物)1%を含む)	40%	30%	10%
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)	35%	25%	5%
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	5%	5%	5%

■分配方針

・年1回の決算時(12月12日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
投資リスク
■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。なお、「ラッセル・インベストメント外国債券ファンド II Aコース(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)」の組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

三菱UFJ MV20/MV40/MV80
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までには販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2000年12月20日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年12月12日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ファンドの費用
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限2.16%(税抜 2%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.1% をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	三菱UFJ MV20	
	当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率0.756%(税抜 年率0.7%) をかけた額
	投資対象とする投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.8208%程度(税抜 年率0.76%程度)
	実質的な負担	当該ファンドの純資産総額に対して 年率1.5768%程度(税抜 年率1.46%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	三菱UFJ MV40	
	当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率0.8316%(税抜 年率0.77%) をかけた額
	投資対象とする投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.9072%程度(税抜 年率0.84%程度)
	実質的な負担	当該ファンドの純資産総額に対して 年率1.7388%程度(税抜 年率1.61%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
	三菱UFJ MV80	
	当該ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率0.9936%(税抜 年率0.92%) をかけた額
	投資対象とする投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率1.0692%程度(税抜 年率0.99%程度)
	実質的な負担	当該ファンドの純資産総額に対して 年率2.0628%程度(税抜 年率1.91%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・手数料	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	
※運用管理費用(信託報酬)は、日々計上され、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。		
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。 なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。		

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

ベンチマークについて

- ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。
- 配当込みTOPIXとは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。配当込みTOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、配当込みTOPIXの算出もしくは公表の停止または配当込みTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- MSCI コクサイ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI コクサイ インデックス(除く日本 円換算ベース)は、MSCI コクサイ インデックス(除く日本 米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI コクサイ インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
- NOMURA-BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
- FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)ならびにFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注)合成ベンチマークの計算にあたっては、委託会社において、ファンドにおける組入資産・為替の評価時点にあわせて計算を行います。

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ MV20/MV40/MV80

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社 三菱UFJ銀行(*)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※商号欄に(*)の表示がある場合、新規申込のお取扱いを中止しております。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)